

北八ヶ岳 東天狗岳～硫黄岳 山行報告

【山城】 八ヶ岳連峰

【ルート】 白駒池～ニウ～東天狗岳～硫黄岳～夏沢鉱泉

【登山方法】 小屋泊まり縦走

【日程】 2019年10月4日（金）～10月6日（日）

【参加者】 CL室（昌）SL石橋 清野 鈴木（愛）（記録） 会員外2名

【行程】

○10月4日（金）

千葉 6:10⇒茅野⇒11:34 麦草峠 11:53⇒白駒の奥庭⇒白駒荘着 12:37 宿泊手続きとランチを済ませ、
白駒池一周ハイクへ出発する 13:44⇒白駒荘着 14:15（泊）

○10月5日（土）

白駒荘 7:20 発⇒8:45 ニュウ頂上 9:15⇒10:24 中山峠 10:41⇒11:42 東天狗岳 12:02⇒白砂新道入口の分岐
12:21 ⇒12:35 根石岳頂上⇒根石岳山荘でトイレタイム⇒13:03 箕冠山⇒13:23 夏沢峠 13:33⇒14:54 硫黄岳
15:09 ⇒15:27 赤岩の頭⇒16:18 オーレン小屋⇒16:55 夏沢鉱泉（泊）

○10月6日（日）

夏沢鉱泉 7:20⇒7:35 桜平 7:50⇒夏沢鉱泉の方が茅野駅まで車で送ってくれる⇒茅野駅⇒上諏訪⇒日帰り温泉
片倉館で入浴⇒茅野駅⇒新宿⇒帰葉



白駒荘の泊まった部屋からの白駒池の景色

【記録】

○10月4日（金） 天気 晴れ後曇り 一時ガス深し 風強し

出発前、台風18号の動きが心配であったが、運よく北八ヶ岳には大きな影響がなく、今日だけ上記の様な天気。あとは晴れでついていた。予定では白駒池～高見石小屋～白駒荘まで歩く予定であったが、風が強くガスが深かったため、白駒池一周ハイクに変える。その前に、ちょっと物足りないので、麦草峠でバスを降り、白駒荘まで歩く。樹林帯の中、所々赤や黄に染まった中を歩いたり、「白駒の奥庭」という庭園風の場所を歩く。そして白駒荘着 12:37。



麦草峠にて さあ出発 白駒荘へ



白駒荘までの樹林帯の中の苔

今回の山行は室さんの会社のAさん、Kさんとの若い彼らと一緒にの山旅である。

白駒荘で宿泊手続きをしてみんなで楽しくランチをし、その後空身で雨は降っていないのだが、風が冷たかったので雨具上下を着て、白駒池一周ハイクに出かける。シラビソやコメツガが多く、その他落葉樹が所々に少しという深い森の中を歩く。時々赤や黄に染まった木々が現れ美しい。約 500 種類もあるという苔が森の中全体にふわっと絨毯の様に生えていて、幻想的で美しく、癒されながら歩く。池の周りの赤や黄に染まった木々が湖面に逆さにうつり、とても美しい。約 40 分弱歩き、白駒荘着 14:20。

入浴後、みんなで宴会。山談義などに花を咲かせ、楽しいひと時を過ごす。

そして夕食。白駒荘の田んぼや畑で取れたお米や野菜を使っのメニューであり、下界の旅館で頂くようなメニューでとても美味しかった。



白駒池周回コースの紅葉



白駒池周回コースの紅葉



白駒荘での楽しかった夕食

○10月5日(土) 天気 晴れ

今朝早く 4:00 頃起きて、室さんと A さん K さんは、小屋の外に出て、星空を眺めた由、3 人はとても綺麗な星空に感動した旨を話していた。隣の部屋で寝ていた私達は室さん達が朝早く 4 時頃に起きて、外へ出た事に全然気が付かず眠っていた。またいつか白駒荘に泊まりたいので、その時は星空を見たいと思う。

室さんの会社の A さんとは今朝、白駒荘でお別れで、これからの山旅は 5 人となる。A さんは、白駒池からバスで帰る。A さんに見送られて、東天狗岳、硫黄岳を目指して白駒荘を 7:20 出発。先ずニューを目指す。

昨日歩いた時と同じように深い森の中、色々な種類の沢山の苔を見ながら歩く。樹林帯が終わりニューの頂上の手前の開けた所に出ると、富士山が雲海の上に綺麗に見え、みんな歓声をあげる。そして岩場を登り、ニューの頂上着 8:45。頂上は 360 度のパノラマ。遠く槍穂高、富士山、浅間山、東天狗、西天狗、奥秩父等々が見え、その美しさに感動する。深い樹林帯の中に白駒池も見えた。



白駒荘前にて



ニユウからの富士山

更に歩を進め、中山峠を過ぎ、東天狗岳着 11:42。赤岳と阿弥陀岳の姿が格好いい。南アルプスの北岳、甲斐駒、仙丈ヶ岳の山波が美しい。奥秩父の金峰山の五丈岩も見えた。

更に歩を進め、根石岳頂上を経て、根石岳山荘に着く。そこでトイレタイム。そして間もなくして^{み かぶりやま}箕冠山に着く。頂上は樹林帯の中で眺望はなかった。そして夏沢峠を経て、硫黄岳を目指す。硫黄岳の頂上らしきケルンが見えているのに、なかなか着かない。頂上のケルンだと思っていたら、まだ先にケルンがあった。

硫黄岳着 14:54。頂上までの登りがきつかった。風が強くなってきて時々ガスも湧いてきた。

東天狗岳から見た赤岳と阿弥陀岳の姿より、硫黄岳から眺めた姿の方がより大きく迫力があり格好がいい。硫黄岳の頂上からの眺めは時々ガスや雲がかかり、今まで越えて来た山々の頂上よりは良くなかったが、ガスや雲が切れると素敵であった。歩いてきた方の斜面で、針葉樹の間に黄色く染まったダケカンバが結構見られ綺麗であった。



ニユウ頂上にて



東天狗岳頂上にて

更に歩を進める。赤岩の頭の手前で見たウラシマツツジの葉が、真っ赤に染まっていてとても綺麗であった。赤岩の頭から見た台座の頭や横岳の西側の斜面が赤や黄色に染まった木々が多く見られ美しい。

そしてオーレン小屋を経て夏沢鉱泉を目指す。樹林帯の中、何本か所々赤や黄に染まった木々が現れて励まされる。その中で、シラタマの白い花が沢山現れ、朝から休憩を入れて 9 時間近く歩いて疲れている時に、可愛い白い花の姿に元気をもらえた。そして夏沢鉱泉着 16:55。(泊)

夕食が 17 時半との事、お風呂は今、混んでいる由で、先に夕食を頂く。豆乳鍋ほか色々とても美味しかった。沢山あり、お腹がいっぱいになる。最後のデザートはシャーベットで、りんご、洋ナシ、ココナッツミルクのうち、選べる事が嬉しかった。私は洋ナシを希望したが、本格的なレストランで食べるような、本物の洋ナシの皮の中に入っているシャーベットでとても美味しかった。

入浴後、みんなで宴会。長丁場歩いてきたコースの話や他の山の話等々楽しいひと時を過ごす。9 時消灯で、疲れもあり私はすぐに深い眠りに落ちた。



硫黄岳頂上にて



硫黄岳からの赤岳と阿弥陀岳



赤岩の頭の手前のウラシマツツジの紅葉した葉



オーレン小屋手前のシラタマの木の花



オーレン小屋手前の紅葉



夏沢鉱泉にて

○10月6日(日) 天気 曇り時々晴れ

今日は帰るだけの日。

「朝風呂に入りたい方はご相談ください」と張り紙がしてあり、相談する。室さんと清野さんが入る。朝食を済ませ、夏沢鉱泉を7:20に出発する。桜平まで15分ほどで着く。そこで夏沢鉱泉小屋の方が来るのを待ち、夏沢鉱泉の方が茅野駅まで送ってくれた。室さんが、事前に茅野駅まで送ってもらう事を予約しておいてくれたお陰である。あの道をバスが通る所まで歩く事を考えたらずいぶん時間がかかると思う。夏沢鉱泉の方に予約をしてくれた室さんと夏沢鉱泉の方に感謝である。

帰りの「あずさ」の買っておいた切符の時間まで時間があるので、上諏訪駅まで行って、日帰り温泉「片倉館」に行き、温泉浴を楽しむ。温泉に入り至福の時を過ごし、あずさに乗り帰葉。

○今回の山旅を終えての感想

出発前、台風の動きが心配であったが、あまり影響がなく、行く事が出来、良かった。

高見石小屋に行く事はできなかったが、ほぼ予定通り歩く事が出来た。一日で白駒池～ニュー～東天狗～夏沢峠～硫黄岳～オーレン小屋～夏沢鉱泉のコースは初めて歩き、長丁場のコースを 70 才にして皆さんと一緒に歩けた事がとても嬉しい。

シラビソ、コメツガ等の樹林帯の中、苔が絨毯の様に一杯ふわっと生えている幻想的な中を歩けたことが、癒され素敵であった。

天気にも恵まれ、素晴らしい景色に出会え、皆さんと楽しく歩けたことは参加の皆さんのお陰と感謝の気持ちで一杯です。有難うございました。

紅葉の時期、なかなか予約が取りにくいと言われている新しく建てられた白駒荘に泊まれ、美味しい食事、部屋から素敵な紅葉の白駒池が眺められ、幸せな気持ちで一杯になりました。室さんが早くから白駒荘の予約を取ってくれたお陰と感謝の気持ちでいっぱいです。

ちば山の皆さんにも是非、白駒荘に泊まる事をお勧めします。小屋は新しく建てられて 2 年目で、快適に過ごせ、部屋からの眺めは素晴らしいし、食事は美味しいし、スタッフの方も優しくて感じが良いし、また行きたくなる山小屋でした。